

据付説明書 (原寸大型紙)

HITACHI
Inspire the Next

(工事される方へ) 取扱説明書もご覧ください。

日立レンジ用フードファン

HB-606M-BL・HB-606H-BL
HBD-606M-BL・HBD-606H-BL形





- この製品の取り付けおよび電気工事は専門工事が必要です。販売店、専門工事店に依頼をしてください。
- 据付工事においては取扱説明書についても良くお読みになり正しく据付工事を行ってください。
- 商品の取り付けは、本型紙(裏面)を使用してお取り付けください。

ご注意





この型紙は湿気の影響で2~3mm誤差が生ずることがあります。寸法をお確かめの上ご使用ください。

安全上のご注意

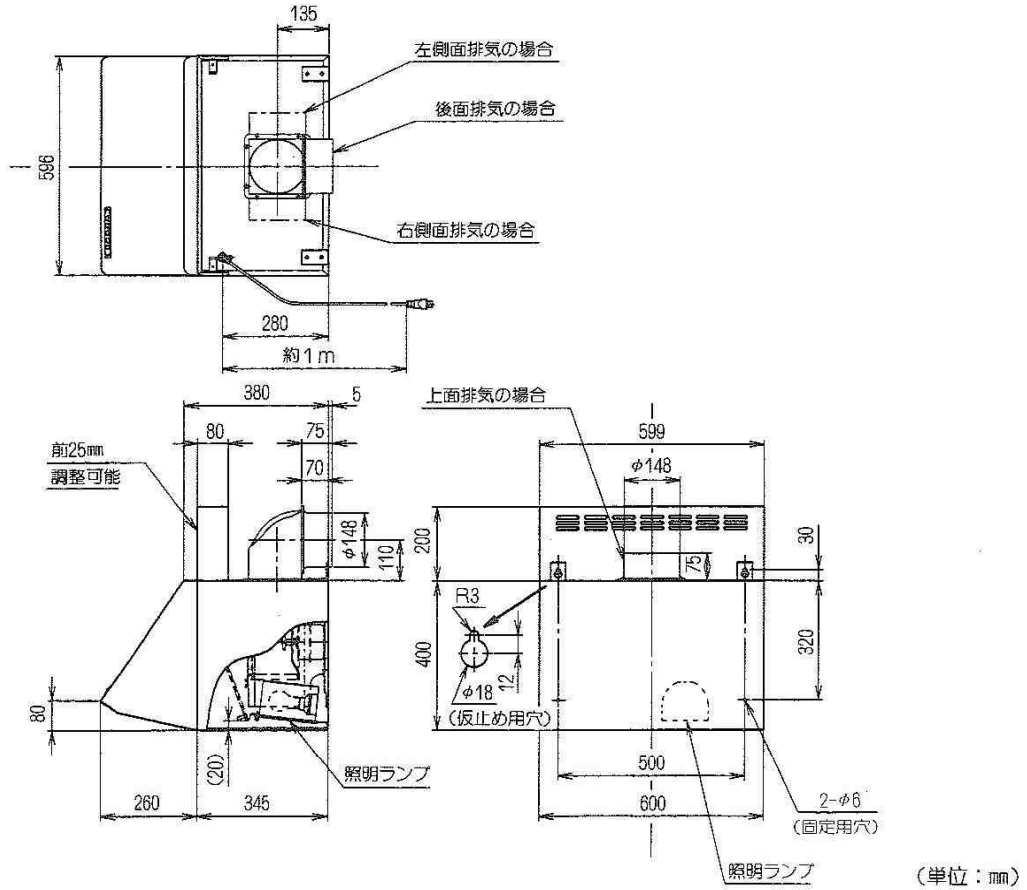
警告

 <p>交流100V以外では使用しない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●火災・感電の原因になります。 	 <p>電源は交流100V専用コンセントを使用する</p> <ul style="list-style-type: none"> ●火災・感電の原因になります。
 <p>アースを確実に取り付ける</p> <ul style="list-style-type: none"> ●故障や漏電のときに感電することがあります。アースの取り付けは販売店にご相談ください。 	 <p>メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電氣的に接触しないように取り付ける</p> <ul style="list-style-type: none"> ●漏電した場合、発火することがあります。

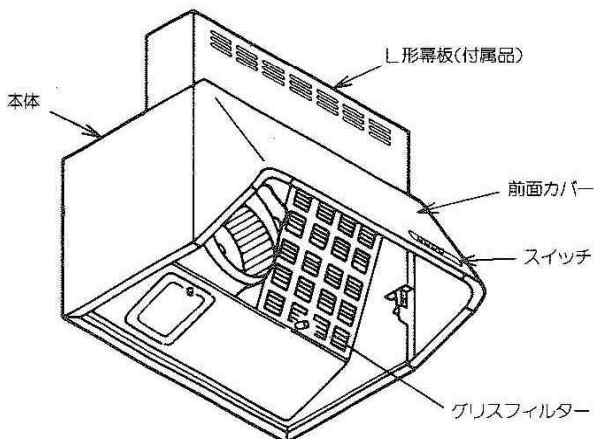
注意

 <p>浴室など湿気の多い場所では絶対に使わない(浴室用換気扇をお使いください)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●感電及び故障の原因になります。 	 <p>本体の取り付け工事は十分強度のあるところを選んで確実にを行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ●落下により、けがをすることがあります。
 <p>天井には取り付けない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●落下により、けがををする恐れがあります。 	 <p>配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ●誤った配線工事は感電や火災の恐れがあります。

寸法図



各部のなまえ



	名称	略図	内容
付 属 品	座付きねじ	4本 (5.1×45)	本体取り付け用に使います。
	ダクト継手	1個	本体とダクトの接続に使います。 逆風防止シャッター付です。
	L形ダクト	1個	後面排気、側面排気の際にダクト継手と合わせて使います。
	F T ねじ	4本	ダクト継手とL形ダクトの取り付けに使います。
	取付金具	2個	本体取り付けに使います。

取り付け前の調査と準備

⚠ 注意

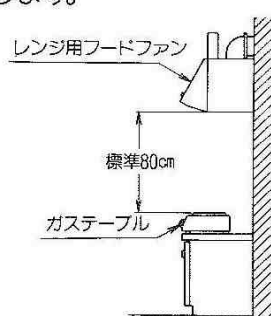
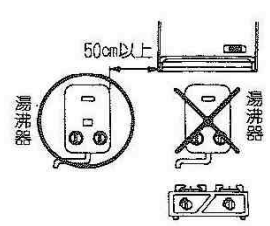
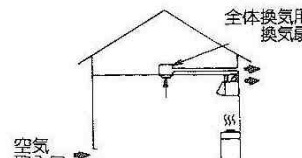


本体の取り付け工事は十分強度のあるところを選んで確実に行う。

● 落下により、けがをすることがあります。

● 取り付け面の強度確認 …………… 製品を支える強さが必要です。(質量14.0kg)

取付上のご注意

<ul style="list-style-type: none"> ● 排気工事をされる場合建築基準法（同施工法）および消防法等の関連法規に従って施工してください。 	<ul style="list-style-type: none"> ● レンジ用フードファンの取り付けは、建物の金属部（壁内ラス網等）と接触しないように、十分注意して工事してください。なお、本体の壁への埋め込みは、絶対にやめてください。漏電した場合発火することがあります。
<ul style="list-style-type: none"> ● ガステーブルの幅はレンジ用フードファンの幅以内のものをご使用ください。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 非常に長いダクトや細いダクト、あるいは極端に屈曲したダクトは排気効果をいちじるしく低下させたり、騒音が大きくなりますのでご使用しないでください。
<ul style="list-style-type: none"> ● 周囲温度が40℃以上になるところには取り付けないでください。火災・故障の原因となります。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 製品仕様を改造してのご使用は絶対におやめください。
<ul style="list-style-type: none"> ● 電源は専用コンセントを設けてください。火災・感電の原因となります。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 製品取付工事には手袋を着用してください。薄板の切口などでけがをする恐れがあります。
<ul style="list-style-type: none"> ● 製品はガステーブルの真上に取付けてください。なお、この製品の標準取付高さは、80cmに設定してあります。 	<ul style="list-style-type: none"> ● レンジ用フードファン下部には、湯沸器を絶対に取付けないでください。また、横方向50cm以上離して取付けてください。湯沸器の真上は高熱になるため故障の原因となります。 
<ul style="list-style-type: none"> ● 建物が密閉されている場合は必ず、約400cm²程度の空気取入口を設けてください。 ● 部屋の中央で料理される場合は、油煙が捕集しきれませんので、お台所の全体換気のために、他の換気扇と併用していただければ、よりすぐれた換気ができます。 	

取り付けかた

1. 本体の準備

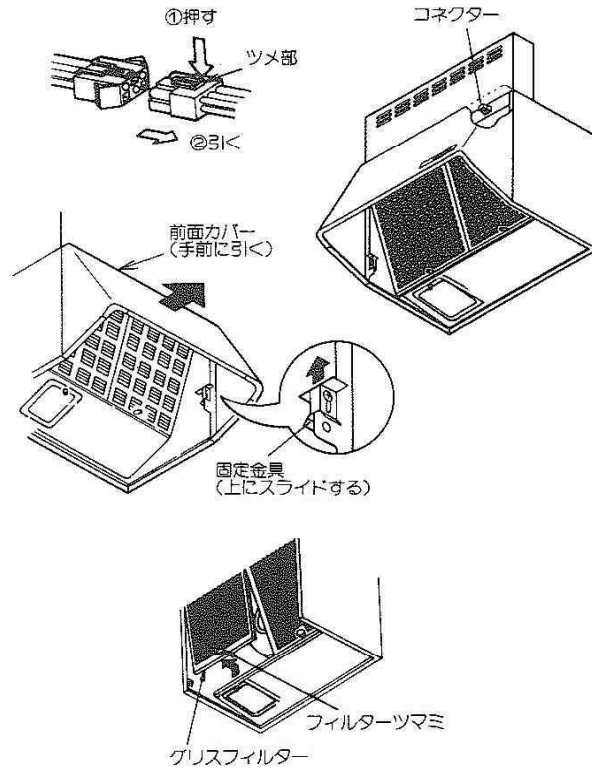
- (1) コネクターを外します。
①のツメ部を押しながら、②方向へ引き抜きます。

ご注意

取り付ける場合は、①のツメ部を押しながら、確実に元まで差し込んでください。

- (2) 前面カバーを外します。
固定金具を上スライドさせ、前面カバーを手前に引いて外します。
取り付ける場合は、固定金具を下スライドさせて前面カバーを確実に固定してください。

- (3) グリスフィルターを外します。
フィルターつまみを持って上にあげ、手前に引き抜きます。



2. 排気方向の決定

警告



メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電氣的に接触しないように取り付け。

- 漏電した場合、発火することがあります。

注意



天井には取り付けない。

- 落下によりけがをする恐れがあります。



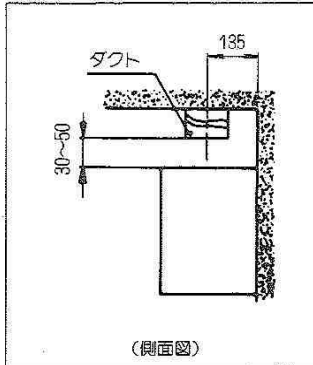
浴室など湿気の多い場所では絶対に使わない。(浴室用換気扇をお使いください)

- 感電及び故障の原因になります。

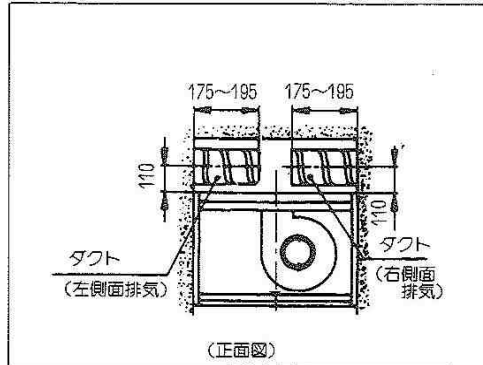
取り付けがた (続き)

- (1) 製品寸法図及び型紙を参照し、壁穴を開けてください。
- (2) φ150のステンレスダクト、またはスパイラルダクトを下図のようにレンジ用フードファンの天面に突き出すようにセットして、周囲を仕上げてください。(コンクリート、タイル、土壁の場合)

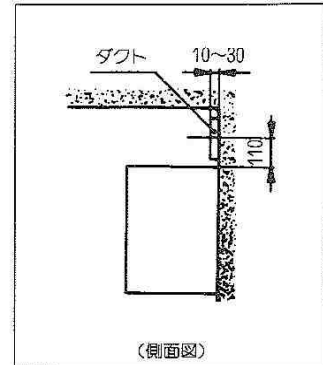
● 上面排気の場合



● 右側面・左側面排気の場合



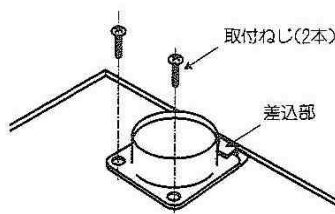
● 後面排気の場合



3. 排気用部品の準備

■ 上面排気の場合

ダクト継手を直接本体に取り付けます。(L形ダクトは不要です)
 ダクト継手は本体上面の差込部に差し込み、取付ねじ2本で取り付けてください。(取付ねじはあらかじめ本体のダクト継手取付部に止めてありますので外してご使用ください。)

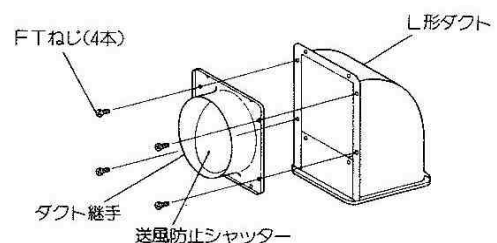


■ 側面及び後面排気の場合

ダクト継手とL形ダクトを組み立てます。
 ダクト継手は、付属のFTねじ4本で取り付けてください。

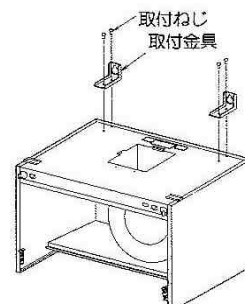
ご注意

シャッターが閉じる方向でダクト継手を取り付けてください。

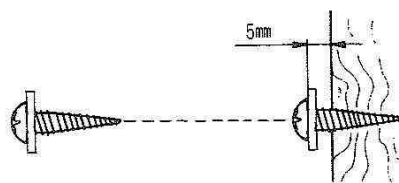


4. 本体の取り付け

- (1) 取付金具を取り付けます。
 - 取付金具を本体上面の左右に取付ねじ各2本にて確実に固定してください。(取付ねじは、あらかじめ本体の取付金具固定部に止めてありますので外してご使用ください。)



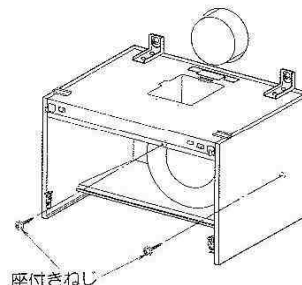
- (2) 本体反止め用座付きねじをねじ込む。
 本体反止め位置（左右各1カ所）に座付きねじ（5.1×45）を壁面から5mmまで締め付けてください。



- (3) 本体反止め用座付きねじに本体を引っ掛けたあと、本体取付用座付きねじを本体取付用座付きねじ位置（左右各1カ所）にしっかり締め付けてください。

ご注意

上面排気の場合は、ダクトにダクト継手を差し込みながら、本体を取り付けてください。

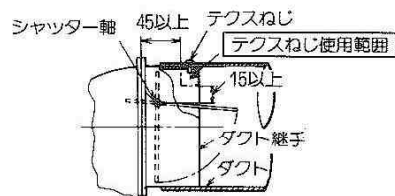


- (4) 本体反止め用座付きねじ（左右各1カ所）をしっかり締め付けてください。

5. ダクトと排気用部品の接続

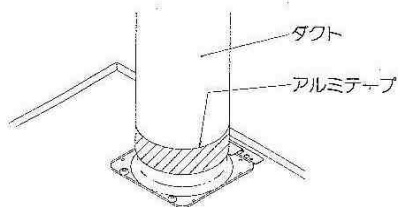
ご注意

テクスねじなどでダクト継手を固定する場合は、シャッターにねじが当たらないように図のテクスねじ使用範囲内に固定してください。



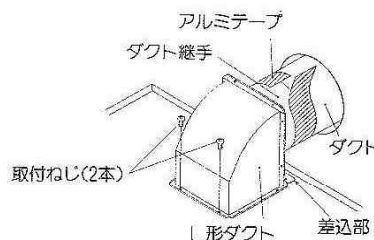
■上面排気の場合

風漏れ防止のテーピング（アルミテープ）を行ってください。



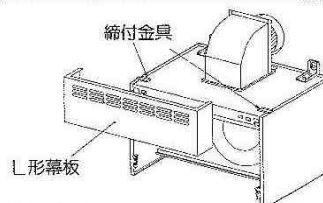
■側面及び、後面排気の場合

L形ダクトを本体上部の差込部に差し込みながら、ダクト継手をダクトに挿入し、取付ねじ2本で取り付けてください。（取付ねじは、あらかじめ本体のL形ダクト取付部に止めてありますので外してご使用ください。）



6. L形幕板の取り付け

締付金具を固定しているL形幕板固定ねじ（左右各1本）を緩め、L形幕板を前より差し込んだ後、L形幕板固定ねじを締め付けL形幕板を固定してください。（本体後面より、320～370の間は任意の場所で固定することができます。）



7. 組み立て

■組み立ては、1. 本体の準備 の項と逆の順序で組み立てを行ってください。

ご注意

コネクタは確実に差し込んでください。
運転ができない恐れがあります。

8. 電気配線

■HB-606M-BL・HB-606H-BL

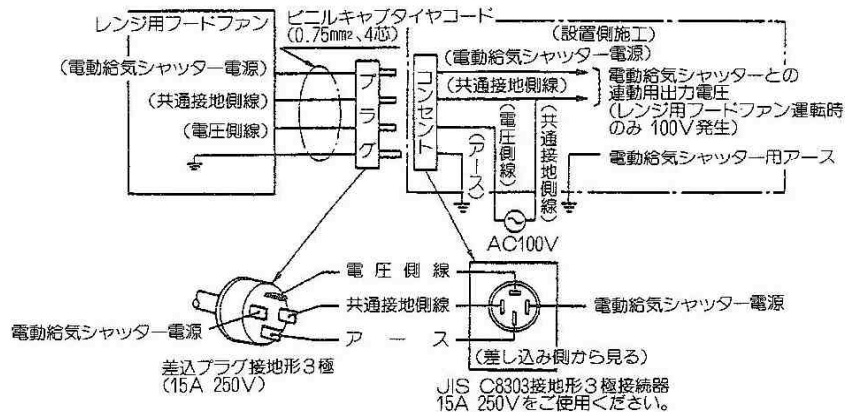
- (1) コンセントは、JIS C 8303接地型2極差し込み接続器 15A 125Vをご使用ください。
- (2) 必ずアース（D種接地工事）をしてください。
- (3) 電源プラグをコンセントに差し込みます。

■HBD-606M-BL・HBD-606H-BL

ご注意

本製品は、電動給気シャッターとの連動製品となっております。正しく配線されていしないと、連動動作不良や短絡事故などの原因となります。

- (1) 本配線図通りに正しく配線してください。
- (2) コンセントは、JIS C 8303接地地形3極接続器15A250Vを使用してください。



- (3) 必ずアース（D種接地工事）をしてください。
- (4) 電源プラグをコンセントに差し込みます。

9. 試運転

⚠ 注意



運転中は危険ですから羽根の中に指や物を入れない。

●けがの恐れがあります。

■スイッチを操作して運転状態を確認してください。

スイッチの操作と運転については取扱説明書 4 をご覧ください。

■運転時、強・中・弱の排気が正しく行われていること。

■異常な騒音や振動がないこと。

■HBD-606M-BL・HBD-606H-BL形は、電動給気シャッターがレンジ用フードファンの運転と連動し動作すること。

システム部材

システム部材は、取付方法により必要になります。詳しくはカタログをご覧ください、日立の家電品取扱店にてお求めください。

優良住宅部品(BL)について

- 当社の定める施工要領を逸脱しない据付工事に瑕疵が生じ、施工者が無償修理や損害賠償を行った場合、BLマークの証紙の貼付（又は刻印等）がされている部品については、財団法人ベターリビングのBL保険制度により、保険金が支給されます。
- BL保険制度や当住宅部品の施工要領の詳細については、財団法人ベターリビングのホームページ(<http://www.blhp.org/>)をご覧ください。

取扱説明書・据付説明書は必ず使用されるお客様にお渡しください。

日立アプライアンス株式会社

〒105-8410 東京都港区西新橋2-15-12
電話(03)3502-2111

株式会社 日立産機システム

〒101-0022 東京都千代田区神田練堀町3番地AKSビル
電話(03)4345-6000(代)

日立ライティング株式会社

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町2-5-2
電話(03)3255-5255